



夕張市立夕張中学校 学校だより

第9号

《 教育目標 》

「ふるさと 夕張に誇りをもち
明日を創造する生徒の育成」

TEL 59-7340

FAX 59-7173

夕中

平成30年11月27日 発行

発行責任者 校長 橋本 展晴

地域に学ぶ

夕張市立夕張中学校長 橋本 展晴

記録的な初雪の遅さが話題となっておりますが、先週は、夕張でも本格的な降雪を記録し、冬の訪れを感じる季節となりました。保護者・地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本校では、「郷土の産業や歴史、文化を学ぶ。」「社会の仕組みや職業について学び、自分自身の進路について深く考える。」といった目標を学年ごとに設定し、「総合的な学習の時間」の学習を推進しています。

10月31日(水)には、1年生が「地域学習」として、市内の公共施設や事業所、福祉施設等を訪問し、取材活動や体験活動を行いました。市役所を訪問したグループは、夕張の自然と産業振興について担当の方から説明を受け理解を深めました。また、今年、リニューアルオープンした石炭博物館を訪問したグループは、館内の見学と坑道体験を通して、夕張の石炭産業の歴史について学びました。その他、夕張川ダム管理事務所やシチズン夕張の皆様、清光園や清陵保育園の皆様にたいへんお世話になり、地域中で生きた体験活動を通して学びを深めることができました。



一方、11月7日(水)には、2年生が夕張高等養護学校を訪問し、生徒の皆さんと交流活動を行いました。当日は、夕張高等養護学校の学校祭の総練習が行われており、模擬店でのゲームやステージ発表の見学を通して交流を深めました。本校の生徒がステージ上で高等養護学校の生徒とともにダンスを踊る場面もあり、会場は和やかな雰囲気になりました。最後に、本校生徒が交流のお礼の意味も込めて合唱を発表し、高等養護学校の生徒の皆さんから大きな拍手をいただきました。毎年恒例となっている夕張高等養護学校との交流を通して、障がいを持つ人たちへの理解を深めるとともに、生徒の皆さんが生き生きと活動している姿から、勇気や元気をいただいています。

これからも本校の教育目標「ふるさと夕張に誇りをもち、明日を創造する生徒の育成」の達成に向けて、地域の教育資源の活用や市内の各学校との交流等を積極的に推進して参ります。

ファミリー・スタディー&クリーンday

コミュニティ・スクールの取組の一環として、ユーパロ幼稚園・ゆうばり小学校・夕張中学校が連携して、朝のゴミ拾い活動「夕張クリーンday」と中学校の期末テストに合わせた家庭学習強調週間「ファミリー・スタディー」が実施されました。どちらの取組も実施を決めてから周知まで時間があまりなく、生徒やご家庭の保護者の皆様の中には、戸惑われた方がいらっしやっただことと思われます。中学校では、以前から定期テストに向けて学習計画を立てたり、家庭学習を提出するなどの取組を行って来ていますが、今回の取組の最大のポイントは、幼稚園・小学校・中学校が連携して家庭でのスマホやゲームを一定程度制限する目標を立て、夕張の子どもたちがみんなで家庭学習に取り組む環境を作り出すことにありました。

保護者の皆様には、「ファミ・スタ カード」に多くのコメントを寄せてくださり、ありがとうございました。お寄せいただいたご意見も参考にさせていただき、各学校や学校運営協議会での検討を経て、より良い取組にしていきたいと思っております。

11月実施「いじめに関する実態調査」の結果について

今月実施した今年度2回目となる「いじめに関する実態調査」(生徒対象のアンケート調査)について、結果(概要)をお知らせいたします。

- ①4月から今日まで、「嫌な思い」をしたことがありますか。
ある：4名 ない：95名
- ②どのようなことをされましたか。(複数回答)
仲間はずれや無視：0名 暴力：1名
持ち物隠しやいたずら：1名 悪口：2名
ネットでの中傷：1名
無料通話アプリでの仲間はずれなど：0名 その他：0名
- ③①で「ある」と答えた人は、今でも「嫌な思い」をしていますか。
している：0名 していない：4名
- ④4月から今日まで、友人が「嫌な思い」をしているのを見たり聞いたりしたことがありますか。
ある：11名 ない：88名
- ⑤いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。
そう思う：88名 思わない：4名 わからない：7名

学校では、今回のアンケート結果も踏まえ、11月5日から教育相談週間を実施し、学級担任が一人一人の生徒と面談を行いました。今回の調査では、「今でも“嫌な思い”をしている」と回答した生徒はいませんでした。過去に嫌な思いをした生徒や「友人が“嫌な思い”をしているのを見たことがある」と回答している生徒がいることから、学校が把握しきれていない「いじめ」やいじめにつながりかねないトラブル等があると考えています。特に、スマホ等によるSNSを通じてのいじめやトラブルは表面化しにくく、早期発見や未然防止には、各ご家庭のご協力もいただかなければならないと考えています。

学校では、「携帯電話安全教室」を開催したり、道徳の授業でいじめの問題を取り上げるなど、いじめの未然防止等に努めていますが、お子様の様子で気になる点があれば、ぜひ、学校へご連絡いただきたいと思います。

12月の主な行事予定



- 1日(土) 市P連「お母さんの会」
3日(月) 3年三者懇談(～7日)
安全点検日
夕張貯筋体操普及講座
6日(木) スクールカウンセラー来校日
10日(月) 生徒集会
評議会・常任委員会
14日(金) 3年マナー講座
17日(月) 職員会議(5時間授業)
19日(水) 授業参観日
1・2年親子レク
3年食育出前教室
20日(木) スクールカウンセラー来校日
21日(金) 2学期終業式、大掃除
教職員研修日(5時間授業)
22日(土) 冬季休業(～1月15日)
25日(火) 冬休み学習会1日目
26日(水) 冬休み学習会2日目

ダメ!絶対! 薬物乱用防止教室を開催

11月15日(木)、栗山警察署の署員の方を講師にお迎えして、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。講師の方からは、未成年者の喫煙がやがて薬物に手を染めるきっかけになっていること、大麻や覚醒剤などの依存性や人体に対して恐ろしい影響があること、危険ドラッグなどの新たな薬物がインターネットなどを介して若者に広がりつつあることなどが説明されました。

参加した3年生も講師の方の説明に真剣に耳を傾け、「絶対に手を出さない!」という気持ちを再確認していました。

教育活動の向上に向けた取組「教職員研修編」

本校では、「主体的・対話的で深い学びを目指す生徒の育成 ～共に学び、高め合う教科指導と道徳の授業改善に向けて～」を教職員の研修テーマに設定し、よりわかりやすい授業を子どもたちとともに目指すことを目指して、年間を通じて研修を行っています。平成33年度からの全面実施に向けて今年度から移行期間に入っている「新学習指導要領」に対応していくために、その内容について学習を深めるとともに、研究授業(教科担任が授業を行い、その授業を他の教職員が参観して、良い点や改善点を話し合う取組)などを実施して、授業改善に取り組んでいます。特に、新学習指導要領では、すべての教科で、「主体的・対話的で深い学び」の趣旨を踏まえた授業を行うことが求められていることから、一人一人の生徒が積極的に課題に向き合ったり、「ペア」や「グループ」など2人以上の生徒同士で考えを交流し合ったり、意見交換をする中で課題を解決していく授業づくりに取り組んでいます。

また、学校だより8月号でも紹介したとおり、各教科の授業改善に向けた取組と平行して、道徳の研究にも教職員全体で取り組んでいます。来年度から、本格的に教科書を使った「道徳科」の授業が始まることから、子どもたちの豊かな心の育成に向けて、教育活動全体を通じた道徳教育の充実や「道徳の時間」の質的向上に取り組んで参ります。



<数学の研究授業の1コマ>